

発行責任者

田中 浩

〒230-0063
横浜市鶴見区鶴見1-12-11-107
TEL 045-580-4997

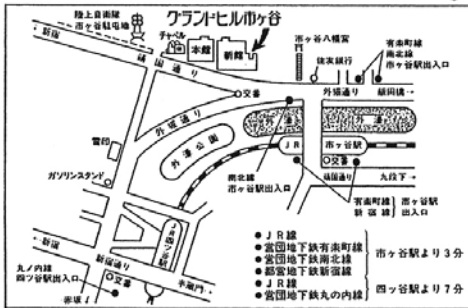
平成15年度 総会出席者名簿

来賓	西井 清美理事長、竹田 剛 学校長	
機械科 9名	M10野島貴四郎	M18小川勝宏
	M24神島 章	M26玉城元市郎
	M28橋本健治	M34石川芳夫
	M39馬場 宏	M42前田範行
	清水一三雄 先生	
建築科 11名	A25西阪 勲	A27田中環也
	A28岡田宏三	A28酒井 保
	A28森田幸博	A29近江巳記夫
	A37森 芳信	A44水守恵子
	A45田辺孝次	A47西口勝臣
	A57信原利行	
電気科 14名	E16戸部 暢	E16松本良夫
	E18野岸一	E20真鍋静夫
	E28有井 章	E29小林孝榮
	E35田中 浩	E35芳仲 宏
	E36笹治博司	E36赤尾仁史
	E36石垣英明	E36馬江治喜
E43中田巳晴	E46福田良明	
土木科 6名	C18秋月勝美	C20橋本嘉信
	C24土谷 晃	C26中山 毅
	C33明見和彦	C33松本信行
工業化学科 3名	CI34柴田孝次	CI37五十嵐三喜雄
	CI40菅家亘通	

同級生等お誘い合わせの上多数のご参加をお待ちしております!



グランドヒル市ヶ谷



平成16年度 総会のご案内

2004.11.12

● 親睦会費 7,000円(女性会員は4,000円)
● 平成年度卒業会費は無料!
● 同封の返信はがきに出欠をご記入の上必ず投函して下さい。

● 日時 11月12日(金) 18時30分~21時
● 場所 グランドヒル市ヶ谷 3階・真珠の間
TEL:03-3268-0111
新宿区市ヶ谷本村町4-1

「ご挨拶」
社団法人浪速工業会 第35代理事長 森田 靖治郎 (電気科 昭和36年卒業)

厳しい残暑も終わり中秋の季節となりました。(社)浪速工業会関東支部の皆様方におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。また、この度は関東支部の機関紙(Mニュース)が30号記念とお聞きし、お喜び申し上げますと共に、発行に携わった方々のご努力に感謝いたしております。

さて、本部の状況ですが、平成十九年に母校がめでたく創立百周年を迎えるにあたり、母校で準備委員会を立ち上げた段階で、これから計画を立案し協議をしてゆく予定です。浪速工業会では、老朽化が進んでおります会館を新しい会館で百周年を迎えるべく、平成十七年度中に会館の建て替えを実現致したく、すでにご案内のとおり募金のご協力をお願いしております。次に定款第十四条に定められております会長ですが、長年空席になっておりましたが、機械科昭和二十四年卒業の西野太一郎様にての任にいたしましたことになり、先般の総会で承認されました。運営面では皆様ご承知のとおり名簿の管理、会報の発行、母校の後援、部会・支部の後援等々、皆様がおられますお手伝いをお願いしておりますが、近年会費の納入率が下がっており(1万8千名の住所判明者で十三年度が18%弱、十四年度が15%強、

十五年度が13%強)非常に苦しい状況です、今のところ外注で行った作業を理事のボランティアでこなし、また、事務局も開館日を減らし(開館日は月、火、木、金曜の午後1時~6時まで)事務もパートでお願いし、支出を極力減らして対応しております。上記の状況で工業会の運営が非常に苦しくなっております。何卒会費納入の、また、募金のご協力をお願い申し上げますと共に、皆様のますますのご健勝とご活躍を祈念申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。

「祝」
黄綬褒章受賞のご報告 [M28] 畑 明

関東浪速工業会には何かとご面倒をお掛けしております。今回はお礼申し上げます。今頃はからずとも黄綬褒章を頂き、大変光栄の事と思っております。小生、昭和三三年の春に上京しまして以来四六年関東暮らしをしております。元々日立製作所に勤務し、昭和六一年に独立し、技術・経営のコンサルタント業をしており、かれこれ十八年になります。振り返ってみますと

1. 機械保全の中央技能検定委員をほぼ二十年にわたり歴任しております。
2. 設備を最良の状態に維持し、効果的に運用する為に必要な技術であります。この分野の発展と技術、技能の確立に大いに貢献した。
3. 精密製造の分野で、生産管

「祝」
総会アンケートの結果報告

二九号Mニュースを配布する際、総会の日についてのアンケートを取らせて頂きました。その結果を下記にご報告させていただきます。会員皆様の貴重なご意見を頂きました。ご協力有難うございました。アンケート依頼送付総数545通

アンケート返却結果

1. 今迄通り 50通
2. 土曜日の昼間 46通
3. 日曜日の昼間 11通
4. いつでも良い 48通
5. その他 12通

合計167通 返却率30.6%
以上の結果ですが、熱心な会員の貴重なご意見も多数頂きました。この結果を幹事会も鋭意検討し、来年の総会より皆様に参加しやすい総会が開催できるようしていきたいと考えています。

事務局 馬江

理ならびに精密加工技術の専門を極め高い技術を有している。三、国内及び海外での技術・経営指導に活躍している。最近ではタイ、ハンガリー、メキシコ、インドネシアなどに出張し、産業振興や人材育成などに活躍している。等々、これらのように、斯界における専門家としての業務精励を表彰されたと思っております。小生、齢六九歳でありまして、今後も人材教育の方面にお役に立つべく努力してまいりたいと思っております。このような成果を上げることが出来たのも、家内の内助の功があつてからこそと思っております。まことに僥越ですが、この賞は家内の受賞とも思っております。昨年十一月十三日皇居へ参内して天皇陛下のお言葉を賜りました。以上まことに拙稿であります。ご報告いたします。

関東浪速工業会の歩み

〔M26〕上田 英雄

今般 Mニュース30号の記念誌を発行するにあたり、これを機に社団法人浪速工業会関東支部の生い立ち及び変遷について少し辿ってみたいと思います。過去本会報9、11号にて、故上畑先輩が昔記として記載されていますが、これを年譜風に簡便化して登場させます。

昭和三年 本部にて東京支部として設立。
昭和十三年 法人成り後関東支部設立。
昭和十四年 初めの関東支部委員、その後有志による活動が少す行われたようである。

昭和二十年 母体空襲により本館・機械別館を残し大半消失、会の活動停止。
昭和二十八年 関東支部の新名簿作成、資料集等充実とある。

この年頃より戦後復興に今まで多忙を極め、ようやく、もはや戦後ではないと謳われるようになった。

昭和三十三年 関東浪速工業会を呼称変更。会長各科輪番制と決まる。
昭和三十三年四月 総会(目白 椿山荘)六十名(因みに小生もこの時参加)十二月 忘年会(渋谷東急ホテル)五十名

昭和三十四年五月 春季総会(八芳園)六月 総会(目白 椿山荘)四十名
昭和三十五年 総会(明石町 治作)昭和三十八年十一月 忘年会(日暮里 笹の雪)

昭和三十九年六月 総会(日比谷 松本楼)昭和四十五年三月 懇親会(築地 松居)一時期各科の意思疎通の問題で、会の活動も消極的になったようである。
昭和五十二年 関東白羊会結成。その後各科同窓会結成。
昭和五十八年十月 総会(六本木 デイスク)昭和五十九年十月 総会(有楽町 ニューオーキック)

昭和六十二年二月 母校創立八十周年記念東西合同懇親会(三河ハイウェイ)四月 関東浪速工業会総会(会長各科輪番制決定) 輪番制決定
昭和六十二年六月 関東白羊会にて関白三三三式創刊
十一月 母校八十周年記念総会
昭和六十二年二月 幹事及び有志一泊懇親会(実施以後例年開催)
四月 第一回ゴルフコンペ開催(以後例年開催)
十一月 総会(以後定時総会)
この様に昭和末期に大きく変革し、今日の形の同窓会に進展しました。

平成元年六月 関白三三三式を拡大して三三三式創刊
平成二年十一月 総会(市ヶ谷会館)
平成三年十一月 総会(アララギス東京)
平成五年十一月 総会(ランドビル市ヶ谷)より現在市ヶ谷同会場利用
平成九年六月 母校創立九十周年記念東西合同懇親会(下諏訪温泉一泊)
平成十二年十一月 総会にて会務輪番制を科別担当制に変更

以上 資料・記憶により記述しましたが、あるいは多少相違があるかもしれませんが、もとより歴史があると言ふ事より、先人の苦勞によりここまで継続できた事実の方が大切かと思えます。現状、総会・幹事会(年5回)・ゴルフコンペ(年2回)ならびに一泊懇親会、見学会等で、会員の皆様が興味を持って、出来るだけお勢の参加を頂ける方法を議論してのお見舞い。次の世代につなげる為のご意見。ご希望はどんな事でも事務局までお申し入れいただければ幸いです。今後の歩みを続けるため、先ず総会に参加しませんか?改めてお誘い致します。

ゆる手段を駆使し観る者を圧倒させる。また大先輩である金田龍之介氏の熱演にも感動した。仲達役を見事に演じられ、大勢の観客より大きな拍手を受けておられた。終演後、秋月先輩の案内で参加者全員、金田龍之介氏の楽屋へお伺いした。お疲れのところを恐縮しつつ記念撮影に快く応じて頂いた。十二年ほど前、三階席の片隅で拝見させて頂いたのが、この新橋演舞場のスーパー歌舞伎で、その素晴らしい衝撃を受け、翌年の再演時も足を運び、今回で三度目となる。しかし当時と比べ観客に若し方の姿が増え、方向性が明確に現れてきた事に驚きを感じた。事実、チケットを取るのが困難であったり、「歌舞伎」と言うだけで敷居が高く感じているまいが、このスーパー歌舞伎は、どんな世代にも受け入れられ、世界に通用する日本独自のエンターテイメントであると思えます。従って若い方々にもぜひ一度、足をお運びになられてはいかがでしょうかと思ふ次第です。

参加者(敬称略)
五月二十日分
M26上田、M26玉城、M28橋本、恩師清水、
五月三十分
E35田中会長夫妻、M18平野、C18秋月夫妻、A27田中、C33松本夫妻、C14菅家、E36石垣、E36馬江、E62村沢 計16名でした。

金田龍之介氏出演 観劇会に参加して

〔E62〕村沢 隆司

五月二三日、開場時刻の大部分からすでに大勢の観客が新橋演舞場の周囲を賑わせていた。開演時刻となり、音楽とともに絨帳が上がり、照明に照らされた舞台には大きな旗を持ち、赤と青の衣装に分かれた中国京劇人が見事なアクト、バットを見せ、いきなり観客を驚かせる。その後物語が進行する中で、本物の水を使った巨大な滝の下での立ち廻りや爆音を轟かす火薬を使い、舞台上を煙と炎で覆うなど大掛かりな装置の細工や、レーザー光線、紙吹雪等々……これでもかと、あら

都島工業の思い出 I
〔M21〕金田 龍之介
入学したのは大東亜戦争開始の翌年、昭和十七年四月で最も大勝利の報道に沸いている時代だった。カーキ色の制服と戦闘帽にゲートル巻きで登校した。途中で上級生に挨拶を返したが、似た校章の学校の学生に間違えて敬礼し、「天下の都工生」と云う言葉は入学早々から先輩によく聞かされた。

校門正面には昭和三年に昭和天皇陛下が関西大演習の際、母校にお立ち寄りになった臨幸記念碑が建ち、皆登校するとそれに敬礼をした。足下には直立不動の60度角の白線が引いてあり上級生の週番が見張っていたり、体操教師で建築科の先輩で生徒をよく「あーア」と言って振りつける先生も監視している日もあった。

本館は惚れ惚れするような美しい建物だった。ゆるいスロープを上がつて堂々としたその中に入ると中央廊下は夏でもひやりとしていて、どこか厳肅な雰囲気があった。入学早々目を引いたのは校門から本館建物に沿って行く自転車置き場の裏に夾竹桃の植え込みがあったので「あー夾竹桃だ」と思ったのだ。当時佐藤紅緑の小説「夾竹桃の花咲けばを熱心に読

んでいたで、心に残っていた。朝礼では、各クラスの級長が一段高い踏み台に上がって級友を点検し、それから正面に向かうのだが初めは列縦隊が妙に心細く感じたものだった。更谷晋作校長の訓示はとても短かった。「新入生諸君の入学を心から祝福します」というような簡潔な言葉に終わって、それから級長が先頭に立ち上級クラスから順次に校舎に行進して退場した。講堂も先輩達で東洋一と自慢できる立派な物で、天井正面はアーチ型に切つてあり演壇には左右の階段があった。左壁には「質実剛健」の額が上げられていた。(右側が思い出せぬ中二階が張り巡らされ全校生徒が式典を上げる時は見事なものだった。その時でも更谷校長の訓示は簡単明瞭で、例えば「天長節を賀し奉る」と言うふう云って降壇した。講堂のピアノで各科一年生が集められて「真珠湾特別攻撃隊九軍神の歌」を習った。「撃ちてしまむ、ますらおの何の機雷ぞ防潜網、あゝこの八日待ちわびて鍛え鍛えし大和魂……」残念ながら最後は忘れた。校庭に出て「良くみい!盛り上がり道が残つとるやろ。陛下がお通りになつた道やぞ」と、これも先輩から教えられてみたが、新入生の私にはよく判らなかつた。

各料だより
〔C33〕松本 信行
「土木は地球の芸術である」というフレーズを心にきき、京浜地区川崎の臨海工業地帯を形成するために着任した。今ある姿は海の中を外周から水中コンクリートで固めて護岸を造り、その後、海の土砂を吹き上げて陸地を造るという作業に携わり、現在の工場の礎が成されている。対岸は千葉の内房がはるか十五キロ先を見ながら、日々仕事に励んでいた。その場所に数十年前この浮島に東京湾アクアラインが通るとは夢にも思っていなかった。日本の土木技術の進歩には驚くばかりである。その後、東名高速道路の通過点である、静岡県由比ヶ浜に「名高い駿河湾の波高」を消す為のテトラポットを毎日数百個造り、海辺に据え付けて岸壁を構築して交通の安全を守る作業の連続だった。もちろん台風対策にテトラポットをセットする大型機械を避難させるために徹夜作業も今思うと懐かしいものとなっている。

四十数年間、様々な所でいろいろな方と出会う仕事をしてきたが、今は第二の職を得て、茨城県の一角で住宅造成の一環として地域の方々と諸機関との折衝役(組合の事務局長)として今まで培ってきたものを全部出し、体に「ムチ」打っている。この文章を書くにあたり振り返ってみると果たして自分の仕事は地球の芸術とまでは言わないが、人様のお役に立っているのか、近々時間を作つて今まで携わった仕事場を歩き、自分の人生をも振り返つてみたいと思っている。(前頁へ)

スーパー歌舞伎 新三国志Ⅲ完結編



観劇会終了後の懇親会



楽屋にて





第20号・1999年(平成11年)10月

鉄

第20号・1999年(平成11年)10月



第10号・1994年(平成6年)6月

第10号・1994年(平成6年)6月



創刊号・1989年(平成元年)6月

本通り

創刊号・1989年(平成元年)6月

30号
記念号
特別記事
Part2

Mニュース発行の歴史

M-NEWS



関東青嵐会懇親会

懇親会に参加して
[E49] 高橋 雄雄

本誌に投稿でき光栄に思います。関東青嵐会の懇親会に参加して私の心境を紹介させていただきます。大空を目指しこの職(航空自衛隊)を選んでから北は青森・南は宮崎まで転々とし同窓会等に縁のない日々でした。「事に臨んでは危険を顧みず身をもって責務を完遂」の誓いを立てた素晴らしい仲間と大義をもって有意義に暮らしてきました。ところが最近、娘が高校を卒業する頃を迎え、夢と若き馬鹿さをもって過した頃や同期を懐かしく思う日々です。

先頃、縁あって関東青嵐会の先輩諸氏と交流を持つことが出来ました。先輩諸氏の皆様が元氣豊饒としておられる姿、自ら志をもつて大成しておられる姿に直接接し、楽しく有意義な一時(酒宴)を過ごさせていただきました。誠に戦闘飛行隊にあつて長老の域に随つていた自分に反省奮起させる貴重な素晴らしい機会ともなりました。

私も特に若い諸氏へ同じ社会にあつて喜び、悩みを同じにする仲間も大切ですが、若かりし頃、学舎を又恩師を同じにした者同士、純粋な交流も素晴らしい意義深いものです。益々の賢同参画を祈願いたします。



青薔会の活動

青薔会の活動
[A37] 森 芳信

関東青薔会(建築科)ではこの数年、毎年二つの催しを実施してきました。恒例となっています「陶芸教室」はA46卒で陶芸家として活躍されている榎木氏の御協力を戴き今年で5回目(十月二日に開催予定)を迎えます。また、「納涼屋形船」(鎌倉古建築探訪)「奥多摩ハイキング」等々を開催してきました。今年は一味、趣向を変え残暑も和らぎかけた九月十一日の土曜日の午後、お台場東京臨海副都心の温泉テーマパーク「大江戸温泉物語」へ参加者6名「花のお江戸へ湯つたりタイムトラベル」とのキャッチフレーズ通り、ちよつぷり非日常的なお江戸の雰囲気を楽しみました。帰路は宇宙戦艦ヤマトの原作者として知られる松本零士氏デザインの近未来型水上バス「ヒミコ」に乗船し、臨海副都心と東京湾岸のスカイラインを満喫しながら日の出

橋へ。この後場所を変えての懇親会、ビールでまず乾杯し先輩、後輩の屈託ない楽しい会話に花が咲き、またの催しへの参加を誓い合い散会しました。

毎回の様な催しへの参加者は、数名から十数名です。幹事一同今後も鋭意趣向を凝らした催しを企画していきたいと考えております。この催しは、都高建築科OBの皆さんの格好の懇親の機会です。是非、青薔会会員皆様の積極的な参加を願っています。



陶芸教室



剣友会
大阪府立都島工業高等学校

ホームページアドレス <http://mths-kendo.web.infoseek.co.jp>

剣友会ホームページのお知らせ
[C18] 秋月 勝美

母校剣友会のホームページが出来ましたので案内します。ぜひともご覧ください。なお剣友会の表題はA28卒の岡田宏三氏作品です。

おしらせ

「C18」秋月 勝美

母校剣友会のホームページが出来ましたので案内します。ぜひともご覧ください。なお剣友会の表題はA28卒の岡田宏三氏作品です。



ヒミコに乗船



大江戸温泉物語にて

次頁へ

シリーズ

小アジアに建つ
ギリシャ神殿

(A27) 田中 瑛也



アイザノイの神殿

ギリシャ神殿といえは、ギリシャ

の首都 オリンピックの開催地、アテネのアクロポリスの丘にそびえ建つパルテノン神殿を、思い浮かべる人は多い。しかしギリシャ本土から離れて、当時としては辺境の土地に建てられたギリシャ神殿には、西洋建築の基本をなすギリシャ建築の様式に、建てられた土地の様式が、混濁一体となった異彩を放つ神殿が遺されている。

小アジア、現在のトルコ共和国、トルコの三大都市、イスタンブール、アンカラ、イズミールに囲まれた三角形の地帯は、E、U加盟に積極的な姿勢をとる国にとつて、加盟の条件の一つである経済の成長を具体的に示すためこの豊穡な農業地帯が、工業団地として変貌しつつある。同時にこの地は、古代フリギア王国(B.C.2000~700)が栄えた土地であり、地中にはまだ眠る文化財の宝庫である。

フリギア王国は、古代ヒッタイト王国とギリシャが小アジアに進出し植民地化する間に在立した小国である。いずれにしても3000年も時代を、さかのぼる気の遠くなる話である。このころの国を統治したミタス王は、土地の地母神キベレを信奉し、神と一体となり、神格化されキベレ像として民衆に

崇められた。この詳細は、Mニース2003年春号に記載させて頂いた。その土地の神キベレとギリシャの神ゼウスが一つの神となり、東西文明の融和に果たした痕跡を見る。その神殿の建つアイザノイは、イスタンブールから高速道路を東へ、途中フェリーを使いアジア側に、オスマン帝国の最初の首都ブルサを経て、南東におよそ300kmの地点にある。現在人々が、生活する小さな集落に隣接して、競技場、大浴場、そして神殿と古代ローマ人が集落を構成するための三点セッ

トが遺されている。キベレ信仰とギリシャ神との融和を、後年当地を支配したローマ帝国は、ハドリアヌス皇帝在位期(A.D.117~138)にこの神殿の建立を成し遂げた。

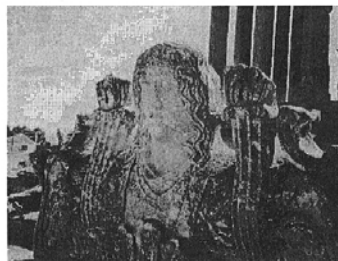
この神殿の特色は、神殿の構造体にある。(図1参照)地下室を宝物庫として利用した跡が見られるが、構造体として一方の半円形の蒲鉾形の天井で構成し、その天井が上部の神殿の構造を支える基礎の働きをしている。この形状は、当時としては、否今日でも奇抜な建築構造様式である。力の流れを、今後最先端の技術で説明すれば、斬新なデザイン建築の創造に寄与でき得るであろう。

神殿は、長辺方向は15本、短辺方向は8本の柱で53m×35.5mの面積1855.5㎡の巨大な神殿である。柱頭の様式は、イオニア式で中央コアは、石造で囲まれていて、この部屋は、地母神キベレが祀られていた。壮大な神殿の景観に見惚れた後、神殿の前面に下りる。そこに妻飾りの石の断片が、置かれてあった。余談ではあるが、神殿建築の屋根は切妻の構造、茅等の軽量材で葺かれていたと思われる。しかし妻飾りは石造でギリシャの神ゼウスの胸像が彫られ、本来キ

ベレは、リシヤ神話に登場するゼウスは、男性神なのに女性神として彫られている。しかもその容姿は、オリエンタルの薫風漂う。ここに地母神キベレとギリシャ神ゼウスの和をなした。しかも後年に当地を統治したローマ帝国によつてなした。これは、文明の融和にいかにかローマ帝国が腐心したかの跡がうかがえる。合わせてわが国で、聖徳太子が大陸からの仏教を取り入れ、古来の神道と和合させた。1400年前の史実に思いをめぐらすと、東西世界として築かれた歴史の垣根が消えてくる。



図1-断面図



ゼウス神

田中瑛也氏ホームページ
の二紹介

編集担当より
Mニースにシリーズとして投稿していただいているA27田中瑛也氏のホームページをご紹介します。



講演中の田中瑛也氏

文明評論家

田中 瑛也

TERUYA TANAKA

全人格的思考を旨とする対話



PROFILE



ホームページアドレス <http://www.geocities.jp/teruya1934/>

見学会の報告

(E36) 馬江 治喜



Panasonic Center
2004.7.24

初め他の風呂場は普通のお湯で沸かしているとの事。しかし温泉はやはり最高で気持ちよい。又風呂よりあがつてからビールで乾杯は、何物にも変えがたい最高の気分であった。

次回以降も見学会に、より多数のご参加を得られるように検討していきたいと思っております。会員皆様のご意見ご希望をどしどしお寄せください。



参加者敬称略)

M20岡野ご夫妻、C20榎本、A25西阪、M26上田、M28橋本、E35田中、E29岩崎、E36笹治、A37森、A38岩井、C140菅家、A57信原親子、E36馬江 計15名

平成16年度関東浪速工業会
各科代表幹事のご紹介

機械科	M42	前田 範行
建築科	A57	信原 利行
土木科	C33	松本 信行
電気科	E36	馬江 治喜
工業化学	C137	五十嵐三喜雄

計報

E科 6年卒 奥山 蔵氏
平成16年5月29日

E科 9年卒 川尻 善雄氏
平成15年10月

C科 9年卒 西谷 通晴氏
平成16年6月16日

謹んでご冥福をお祈り
申し上げます。